

# 都市の中の オアシス

狭い土地を生かした快適な家づくり



## コンセプト

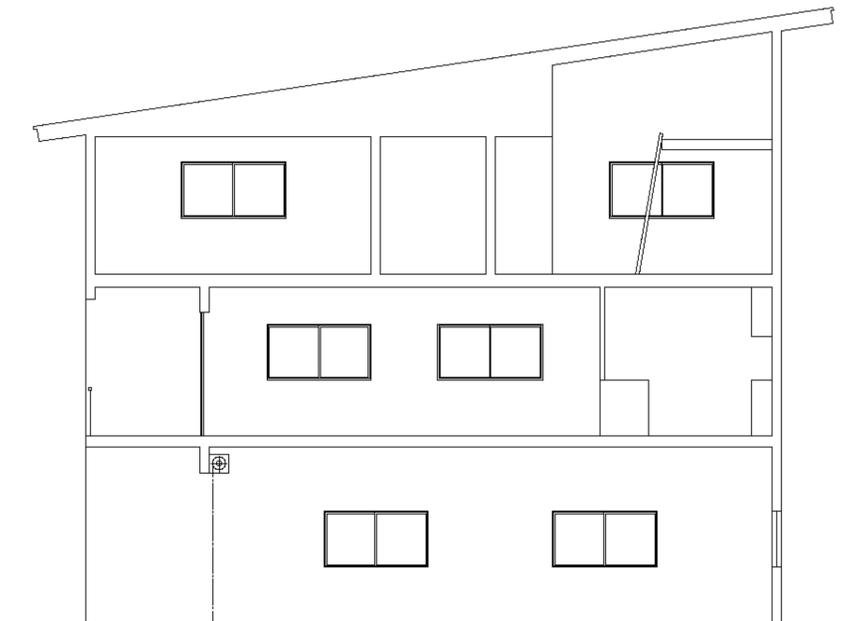
「都市の中のオアシス」は、狭い土地の中で、限られたスペースを最大限活用し、都市部での生活の喧騒から解放されるためのオアシスのような家です。この家は狭い空間の中でも機能的なデザインをすることによって、快適で豊かな生活を実現できます。都市部にありながらも、空間の限界を感じさせない家です。

この設計は、狭い土地の空間やスペースをどのように活用するか、ということテーマに設計しました。

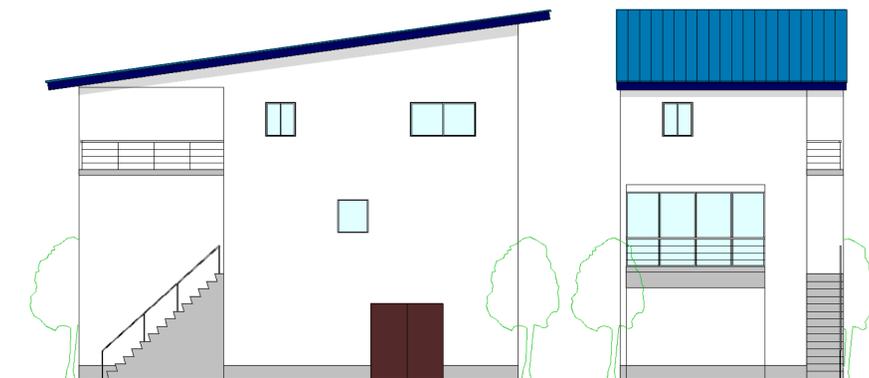
まず重要なのは、限られたスペースでも快適な生活空間を確保し、効率的に空間を使うことです。狭い土地に家を立てるということは使える空間にも限界があります。その中で快適に生活するには、部屋の配置や余ったスペースをうまく使う必要があります。この設計ではLDKをつなげ一つの空間に見せたり、屋根の余ったスペースにロフトを設け生活する空間を増やしたりしました。

次に垂直方向のスペースの活用です。狭い土地の中では水平方向に空間を伸ばすことはできません。そのなかでスペースを確保するには垂直方向に建物を伸ばす必要があります。この家は建物を上に伸ばし、一階にガレージ、二階、三階に生活スペースを設けることで、狭い土地の中でも駐車するスペースや生活する空間を作ることができました。

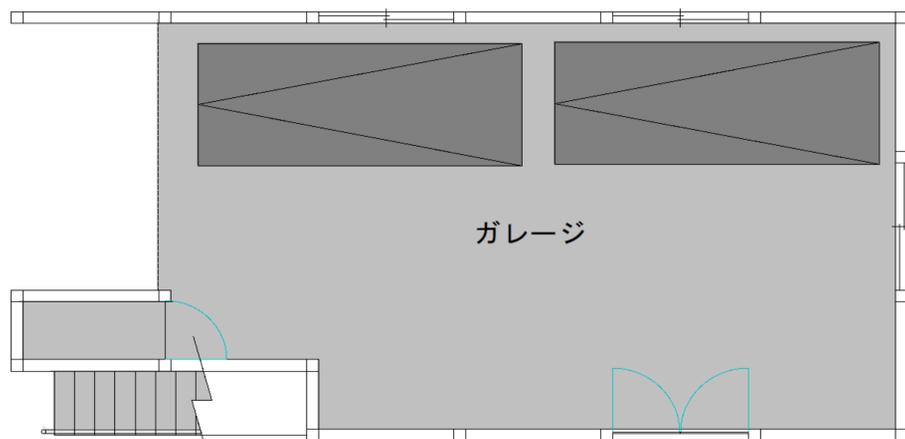
最後にオープンプランによる空間の見え方の工夫です。生活する中で視界が狭く感じてしまうと、圧迫感や不快感が出てしまうと思います。それらを改善するために玄関から広い空間につなげたり、天井の高さを高くしたりすることで、狭さを感じさせず快適に過ごせる空間を作ることができます。このように、狭い土地の中でもその中で機能性や快適さを見出し工夫することで、狭さを感じさせない居住空間を作ることができます。これにより、都市部の活性化させたり、スプロール現象の解決に貢献したりすることができると思います。



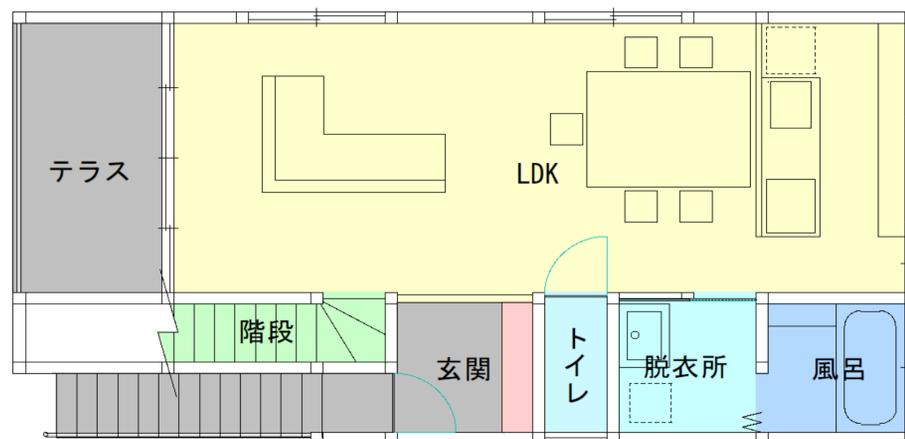
断面図



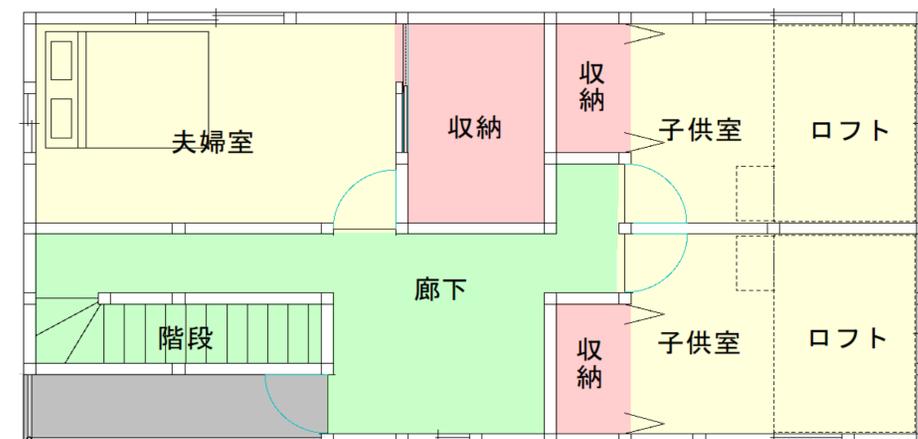
立面図



1階平面図



2階平面図



3階平面図